

# 第二回仙臺能

二〇二四年十一月二十三日(土・祝日) 午後二時開演[開場…午後一時]  
日立システムズホール仙台 シアターホール

ご案内

本屋 禎子

狂言

長光

シテ(素破) 大藏彌太郎

アド(道通) 大藏 章照

アド(裁人) 吉田 信海

後見 小梶 直人

太鼓一調

竜田

辻井 八郎

太鼓 桜井 均

能

(休憩 十五分)

松風

ツレ(村雨) 金春 憲和  
シテ(松風) 金春 安明  
ワキ(旅僧) 野口 能弘

間(所の者) 大藏彌太郎

大鼓 國川 純  
小鼓 幸 信吾

笛 小野寺 竜一

後見

辻井 八郎  
柏崎真由子

地謡

後藤 和也 井上 貴覚  
本田布由樹 高橋 忍  
中村 昌弘 山井 綱雄  
太田 直道 本田 芳樹

附祝言

(終演予定 午後四時半頃)

あらすじ

狂言 大藏流 長光

ながみつ

シテ 大藏彌太郎

在京の田舎者が本国へ帰る折、みやげ物を買おうと店に立ち寄ったところ、後ろから忍びよってきたすっぱ(すり)に手をかけられた。田舎者が盗人めと叫んだところ、すっぱもお前こそ盗人だと言いかえす。そこに役人が来て聞いただが、兩人とも相手が盗人だと言ってゆずらない。さてその結末は…。

あらすじ

能 金春流 松風

まつかぜ

シテ 金春安明 ツレ 金春憲和

旅の僧が須磨の浦で、松風・村雨の海女の旧跡の松を見て弔っていると、秋の日暮れは早く、近くの海女の塩屋に一夜の宿を乞うた。僧が行平の歌を口ずさんだところ、二人の海女はにわかにならぬ、私たちは松風・村雨の幽霊、すが、行平との契りが忘れがたく、現れたのです」とうち明け、やるかたのない恋を語り、形見の烏帽子狩衣を着て舞ったが、夜明けに目覚めれば、僧は松風の残る浦に伏していたのだ。

## 第二回 仙臺能

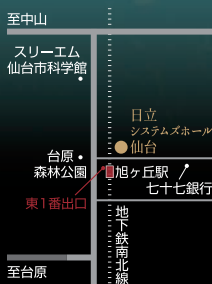
これからも仙台で、皆さまに親しまれる能楽公演をお届けします。

能楽は650年以上にわたって継承されてきた世界的にも稀有な音楽劇で、歴史や文学と密接に関わりながら日本人の心象形成に多大な影響を与えてきた芸能です。仙台市能楽振興協会は、流派を越えて互いに協力しながら能楽の普及と振興に努めています。

11/23(土・祝)

開演14:00 [開場13:00]

日立システムズホール仙台  
[仙台市青年文化センター]  
シアターホール  
仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5



≪地下鉄をご利用ください≫  
仙台市地下鉄南北線「旭ヶ丘駅」下車、  
『東1番出口』より徒歩約3分。



松風 シテ

金春安明

金春憲和の父

前宗家(金春流八十一世宗家)



松風 ツレ

金春憲和

金春流八十一世宗家

- 仙台市市民文化事業団 総務課 ≪チケット電話予約≫ ☎022-727-1875(平日 9:30~17:00)
- 仙台市市民文化事業団 ウェブサイト <https://ssbj.jp/ticket/>
- 日立システムズホール仙台[1階事務室] (9:30~19:30 / 休館日除く)
- 仙台銀行ホール イズミティ21[1階事務室] (9:30~19:30 / 休館日除く)
- 藤崎 ●チケットぴあ<Pコード:524-539> ●ローソンチケット<Lコード:22731> ●イープラス



<https://www.gekito.jp/>



能「松風」  
(1989年)

撮影  
辻井 清一郎

チケット取り扱い